

中学生議員が議会体験

(11月28日)



今年で4回目を数える「当別町子ども議会」が役場議場で行われ、町内の各中学校から選ばれた議員21人が出席し、本番さながらの議会が行われました。

議場入りした議員は、緊張した面持ちで自分の名前がある席に着き、議長の渡辺涼太君（西当中3年）と副議長の中島一輝君（弁華別中3年）の進行で、8人の議員が泉町長に質問を投げかけていました。

「ふくろう^{あんどん}行灯」でまちを明るく

(11月29・30日)



「当別ふくろうの会」が2月9日に予定している「ふくろう展」をふくろう行灯で飾ろうと、講習会を開催し、13人の会員が集まりました。北広島在住の榎湯^{ますがた}先生に手ほどきを受け、参加者は「ふくろうの形にしんちゅう線をつなげるのが難しい」と言いながらも、丁寧な手つきで楽しみながら行灯を作っていました。

「はつらつ当別」で演奏会

(12月3日)

12月に春日町に開設した総合支援センター「はつらつ当別」(医療法人豊生会)で、ハート音楽院による演奏会が行われました。

デイサービスに通う方や関係者が集まり、ギターと大正琴の音色に耳を傾け、「故郷」など懐かしい曲を口ずさみました。

開設したばかりの明るい施設では、デイサービスに通う方々を3～5名のスタッフがお世話し、基礎健康チェックやリハビリ、外出活動などで健康と生きがいづくりが行われていく予定です。

タウン

トピックス

Town Topics

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み

情報課広報広聴係

TEL 23-3069

岩出山から特別列車 友好いつまでも

(11月26～28日)



当別町と姉妹都市を結ぶ岩出山町の町民60人が、特別列車「岩出山町民号」で来町しました。

26日の午後にはJR当別駅に着いた列車からは、よろい姿の佐藤町長や町民が姿を見せ、町民約400人が出迎えました。滞在中に、伊達邦直主従北海道移住の地、当別神社、伊達記念館、スウェーデン交流センター、ロイズ工場などを視察されたほか、歓迎セレモニーなどで両町民との交流を深めました。

岩出山は平成18年4月に近隣7市町と合併し「大崎市」となることから、町として最後の来町となりますが、今後も交流を深めることを確認しました。



町長の日記

17年12月16日（金）

今朝、高橋知事に当別ダム早期完成を要望する為、内海道議さんの計らいで竹田議長さんと三人で道庁へ行った。

広い知事応接室に約束の時間に知事がにこやかな笑顔で入ってこられた。

「様々な意見を良く聞いた結果、当別ダムは継続すべき事業だと判断致しました。」と云われ、何かふっ切れたようにとても爽やかな表情だった。

新聞が連日ダム建設に批判的な報道をしている中で正常に判断された知事の勇氣に心から敬意を表し感謝した。

知事は当別の老人クラブやボランティアの女性グループなど31の団体が白樺コミセンに入り切れないほど集って当別ダム中止に危機感を抱いた町民集会のことを良く承知されていた。

最近“環境に優しく”とか云ってダムを造る行政が時代に逆行しているように発言する人もいるが、当別町は洪水や水害だけでなく飲料水の質が悪い点と量が不足していることを悩んできた町なので、何とか水利権を確保しようと何十年間も努力しているのに、この町の人々の願いが理解してもらえないことに私はいらだちを感じていた。

丁度、今日は竹田議長が北海道社会貢献賞を受けられる日だったので知事からお祝いの言葉があった。

その時、逆に竹田議長から知事に今回のご苦勞をねぎらう言葉がとてもすばらしかった。

「私は受賞よりもダム継続決定の方がはるかにうれしい」と述べられたのです。

人間には学歴や地位だけではなく“人に優しい”人生を積み重ねられた人でなければ出てこない言葉があると思った。

すばらしい朝だった。

当別町長衆亭俊考

「ヤーコン」甘くておいしいね

(12月5日)



町内のおいしい野菜を子供たちに給食で味わってもらおうと、昨年に続いてヤーコンが登場しました。

当別町では、平成15年から農業支援センター内のヤーコン倶楽部が栽培を始め、今年11月に5トンの収穫がありました。

ヤーコンは、歯ざわりがよく、甘さがあり、オリゴ糖がたくさん含まれていることで近年注目されている野菜です。今回の給食には、千切りにしてごぼうやちくわと混ぜた「きんぴら」として登場。

弁華別小学校6年生の児童は「野菜には好き嫌いがあるけど、これは柔らかくおいしい」ととても食べやすかった様子で、みんな満足していました。

日ハム選手・コーチと楽しく交流

(12月18日)



当別ファイターズクラブが、「日本ハムファイターズの森本^{ひちより}稀哲選手・白井一幸ヘッドコーチと交流会」を開催しました。会場の田西会館には、120人の同クラブ会員が集まり選手と楽しい時間を過ごしました。

トークショーでは、負けが込んでいる時の対処方法や私生活の話題の質問に、冗談も交えながら笑顔で答える2人のトークに拍手も沸き起こり、会場一体になって盛り上がりました。最後に、森本選手から「来シーズンの目標は、レギュラー奪取とプレイオフ進出」と力強いメッセージが送られました。